

教育と療育を繋ぐ、放課後等ディ・児童発達支援
～くらしの力を育てる療育～

湧気自然塾だより NO.62

勝田郡奈義町荒内西1050-7 R.7.3.12
TEL 0868-20-1755 FAX 0868-20-1766

すべての子ども達に豊かな育みを！！

子ども達の抱える様々な課題に挑戦しています
発達障害、不登校傾向、学力不振、コミュニ
ケーション力の育成等々…、ご相談ください。



★湧気自然塾の
せんべいが
できました

～6年目の確かな歩みに向けて～

ご協力ありがとうございました(自己評価)

早いもので令和2年4月開所から5年が経ち、6年目を迎えようとしています。より良い療育・教育をと悩みながら進めてまいりました。先日この1年を振り返っていただき、本塾への評価をお願いしました。その結果を次にご報告いたします。

保護者評価

1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか (外遊びができるスペースがないのが残念。)	はい 95% どちらともいえない5% いいえ0%
2 職員の配置数や専門性は適切か	はい 90 どちらともいえない10 いいえ0
3 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画やプログラムが計画・実施されているか (モニタリング時等、子どもの特徴等がよくわかった計画を立ててくださ安心できている。よく見て頂いていて嬉しく思っている。)	はい 90 どちらともいえない10 いいえ0
4 支援の内容、利用者負担等について、丁寧な説明がなされたか	はい100 どちらともいえない0 いいえ0
5 日頃から、子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか (送迎時に、何かあれば様子をお知らせくださり、とてもありがたい。)	はい 95 どちらともいえない5 いいえ0
6 定期的に便り等で活動概要や予定等の情報を利用者に発信しているか (湧気自然塾だよりを楽しみにしている。子ども達の様子の写真は嬉しい。)	はい100 どちらともいえない0 いいえ0
7 個人情報に十分注意しているか	はい100 どちらともいえない0 いいえ0
8 非常災害の発生に備え、必要な避難訓練等が行われているか	はい 85 どちらともいえない15 いいえ0
9 子どもは通所を楽しみにしているか (子どもの笑顔が、楽しさを全力でアピールしている。苦手意識が強く、行く前には嫌がるが帰ってきた時はそうでもない。)	はい 75 どちらともいえない25 いいえ0
10 事業所の支援に満足しているか (大変満足している。)	はい100 どちらともいえない0 いいえ0

評価・ご意見を受けて

○全体的に支援やお便りに対する高評価をいただき、本当にありがたいです。

○楽しい活動を中心に療育・教育を進めることはなかなか難しいです。環境や時間の制約もありますが、子ども達に楽しんでもらいながら意欲的に必要な力をつけていけるよう工夫を考えたいと思います。本塾の取組の柱の一つでもある「地域の学び」の中での子ども達の集中力には素晴らしいものがあります。日頃の応援・支援に感謝し、大いに、参考にしたいところです。

○非常災害に備えた避難訓練は、避難訓練週間(火災・地震)をつくって、年2回行い、お便りにも紹介してきました。しかし、十分とは思っていません。安心してご利用いただけるように内容や機会を充実させていきます。

本年度も、保護者の皆さんからの評価とともに、本塾のスタッフによる事業所評価も別途行いました。そして、両者をもとに、先日、スタッフみんなで話し合い、本年度の「自己評価総括」を行いました。裏面に掲載しています。是非ご覧いただき、感想も含めてご意見を聞かせてください。(本塾のホームページ <https://yuukishizenjuku.com> にも掲載予定)

いつも、子ども達の笑顔こそが私達の支えです。子ども達にも感謝感謝です。今後も、子ども達に寄り添った実践に取り組んでいきたいと思います。どうぞご支援を賜りますよう、お願いいたします。ご協力ありがとうございました。

就労継続支援B型事業所より

春野菜の植え付けをしています

ファーマーズ前の畑では、利用者の皆さんが、石拾い、堆肥まき、畝立て、マルチ張り等の作業に意欲的に取り組み、畑の準備ができました。そこへ、レタス、白菜、ブロッコリー、キャベツの苗をていねいに植え付けていきました。成長が楽しみです。



令和6年度自己評価総括表		湧 気 自 然 塾
事業所の強み（※）だとと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1 ・理論に基づいたプログラムをもっていること ・集団の中で活動できるプログラムになっている ・スタッフが同じ方向で支援指導等できる	・個別支援計画・基本プログラム等をもとに、事業所オリジナルの個別プログラムを作成し、支援を行っている。 ・日々、当日の取組や一人一人の様子や学びについて、細かく記録をとり、振り返りや次の支援の参考にしている。	・日々の打ち合わせ後、スタッフは必ず個人プログラムを読み込み、共通理解することを習慣化する。 ・また、前回の反省を踏まえ、共通の支援をするために自主的に意見交換をする。
2 ・集団での療育を行っていること	・互いがモデルとなり合えるよう、小グループづくりの工夫と配慮をしている。 ・良い手本を見ることができ、よい行動が強化され、成功体験を積み重ねていく。	・今後も、手本となり合えるような集団づくりを行う。 ・スタッフの誰もがスキルアップしていけるよう、事前に共通理解の場を設け、観察・実践する。失敗と思われる時は、他のスタッフが適切な支援をその場でを行い、スタッフが各自が自覚できるようにする。（即時プログラム有）
3 ・独自のプログラムの中に「地域の学び」があること	・「地域の子どもは地域で育てる」スタンスで地域の方々が多様な体験活動を行っていただいている。ボランティアとの関わりは、日々のトレーニングの活用になり、また将来、地域の中で過ごしていく上で、良い繋がりができる。 ・地域ボランティアのローテーションや内容にも配慮してもらえるよう、事前に相談をしている。（季節に応じた内容等）	・地域ボランティアの来訪に留まらず、地域に出ていく機会を広げる。「昔語りの公園」や「作品展」への参加を続ける他、園校の長期休業中を中心に、町内外の施設（B&G、山野草公園、フアーマーズ、各運動公園等）に出かける計画も積極的に行う。
事業所の弱み（※）だとと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1 ・広い空間でのトレーニングができていくこと	・室内に2つの和室を合わせてフロンティアのトレーニングルームをつくっているが、室外には、元々の設え上、広い空間がない。	・室内でできる運動の充実を図る。（リズムジャンプ等） ・戸外にある地域施設の活用機会を増やす。
2 ・非常災害時（緊急時）の避難訓練をより充実させること	・利用者は曜日によって異なるため、避難訓練週間として、取り組んでいるが、時間的な制約や出欠の関係から、利用者によっては限られた内容での訓練にとどまっている。	・バリエーションを広げる。（火事・地震・水害等） ・目的をもった訓練の各回数を増やし、利用者全員が多様な訓練にしっかりと参加できるよう計画する。 ・春～秋、これまで不足の有効性から室内では上履きを脱いで活動してきたが、非常災害時に備え、常時、履物を脱いでおくように、変更した。
3 ・子どもにとってより魅力のある事業所となるため、面白いと思える環境づくりを行うこと	・時間的な制約の中で、様々なトレーニングをしているが、全体の管理上、見守り易い場での活動に偏りがちになる。	・複数の部屋の有効な活用を考える。 ・おもちゃや図書館から借りるおもちゃ・図書館から借りる本類・ボードゲーム等をさらに充実させる。 ・スタッフが安全な見守りに工夫を行う。 ・子ども達自身がトレーニング自体の充実感や達成感を得られるよう、配慮・工夫を意識して進める。

春休みエンジョイタイム・昼食献立

3月25日（火）	3月26日（水）	3月27日（木）	3月28日（金）	3月29日（土）
ギョウザ	運動公園 煮込みラーメン	習字 お好み焼き	読み聞かせ 唐揚げ	木で遊ぼう（午前） 他人井
3月31日（月）	4月1日（火）	4月2日（水）	4月3日（木）	4月4日（金）
歌・リズム遊び オムライス	絵画 ワンプレートミックス	習字 カレーライス	読み聞かせ ちらし寿司	絵手紙 スープパスタ
4月5日（土）	4月7日（月）	※水筒、エプロン、マイ箸・スプーン・フォークをお願いします。 ※子ども達にいろんな体験とお楽しみを準備しています。通常のご利用以外に参加ご希望の方は、あらかじめご連絡ください。		
運動公園 オムキャッシュ	豆腐ハンバーグ			

【ご連絡】 これまで、足裏感覚を鍛えるために、春休みからは室内でシューズを脱ぎ裸足で生活していましたが、この春からは、非常時の避難に備え、室内でも、年中、シューズをはくことといたします。
 洗濯やサイズ交換が必要と思われる場合は随時連絡しますので、よろしくお願いいたします。